

【山崎名誉主宰の俳句】

ぼそと

山崎 聰

秋のやまとはるいるいとけものの眼  
おおかたは別の世界の霧の中  
満月のあくる日忽と逝き給う  
秋もおわりかいま越の国灯る  
十一月の快晴さびし山はなお  
旅のおわりはあかあかとさむざむと  
月山をほたほたあるき十二月  
ぼそとつぶやき寒月光の真下  
柱状節理鈴振って雪の中  
山に雪おじいおばあら息災か